

3年「心をしずめて」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	心を静めて、相手のことを考えよう
導入	誰かに嫌な思いをさせられて、相手が謝ったとき、「いいよ」と許すことは、どうして大切なのか考えましょう
展開前段	○絵に水がこぼれたとき、ともみは、どんなことを思ったでしょう ○あき子が謝りに来たとき、ともみは、どんなことを思ったでしょう ○お兄さんの話を聞いて、ともみは、どんなことを思ったでしょう
つなぎ発問①	○謝っても赦してくれないともみを見て、あき子は、どんなことを思ったでしょう ○ともみは、どうするのがよかったのでしょうか ○この後、ともみが、あき子の家に行って、二人がどんな話をするとステキでしょう
展開後段	相手の過ちを赦すことは、どうして大切なのでしょう
つなぎ発問②	誰にでも失敗や過ちはあります。それよりも、大切なことがあるのですね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もうすでに、相手を赦してあげたよということはどうな事ですか ・①のことをもとに、これから、どんなことをしていきたいですか

	では、振り返りを書きましょう
振り返り	